音Ⅰ 703

MOUSA 1

ムーサ

令和４年度 高等学校用教科書 音楽Ⅰ

27教芸 （令和４教　内容解説資料）

目次

MOUSAの特徴……3
改訂のポイント１……4
改訂のポイント２……6
改訂のポイント３……8
歌唱……10
器楽……12
創作……13
鑑賞……14
資料……15
年間指導計画例……16
指導書について……18
検討の観点別に見た特色……19

教育芸術社

MOUSA（ムーサ）は，

「**卒業後も手元に残しておきたい教科書**」であることを

刊行以来のコンセプトにしています。

令和４年度から使用される新しいMOUSA1では，

音楽の魅力をさらに多面的に学べるようにしました。

特徴1

授業スタイルに合わせて選曲することができる！

■さまざまなジャンルから教材性の高い曲を厳選

「ジャンル別MAP」を示すことで，生徒が幅広く音楽と関わることができるよう，
また，多様な状況に対応できるよう配慮しています。

（P.8・9 ジャンル別MAP）

特徴2

どの教材も扱いやすい！

■生徒に日々接している先生方の実践的なアイディアを具現化

MOUSA1に掲載している歌唱や器楽の全ての教材については，著者と編集部が試演を重ね，音域や演奏のしやすさなどを検討しました。また，創作では，生徒が取り組みやすいよう手順を示しています。

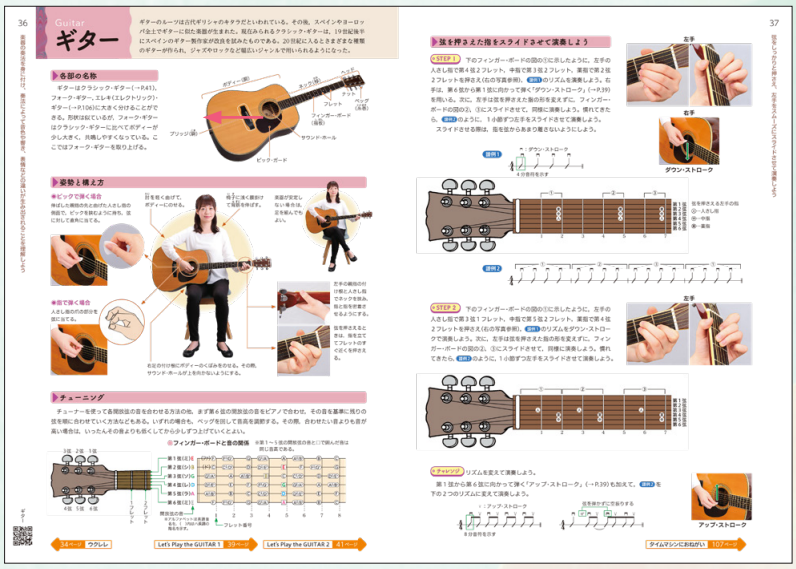
（P.86・87）

特徴3

丁寧な学習プロセスの提示！

■生徒が達成感を得られる内容

これまでの個々の音楽経験に関係なく，全ての生徒が「楽譜を読めるようになった」「楽器を演奏できるようになった」と実感できるよう，段階を踏んで取り組める内容になっています。



（P.36・37）

新しい MOUSA 1 改訂のポイントは――

ムーサ

1 分かる・できる

2 コミュニケーション力

3 学びに向かう力

改訂のポイント 1 分かる・できる

生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と幅広く関わる資質・能力の育成と，基礎的・基本的な知識及び技能の習得を目指します。

▽ 作曲家の生涯と作品から学ぶ音楽文化と歴史

作曲家の生きた時代背景や当時の生活などについて深く知ることができる「クローズ・アップ・マエストロ」。J.S.バッハと，W.A.モーツァルトを取り上げています。

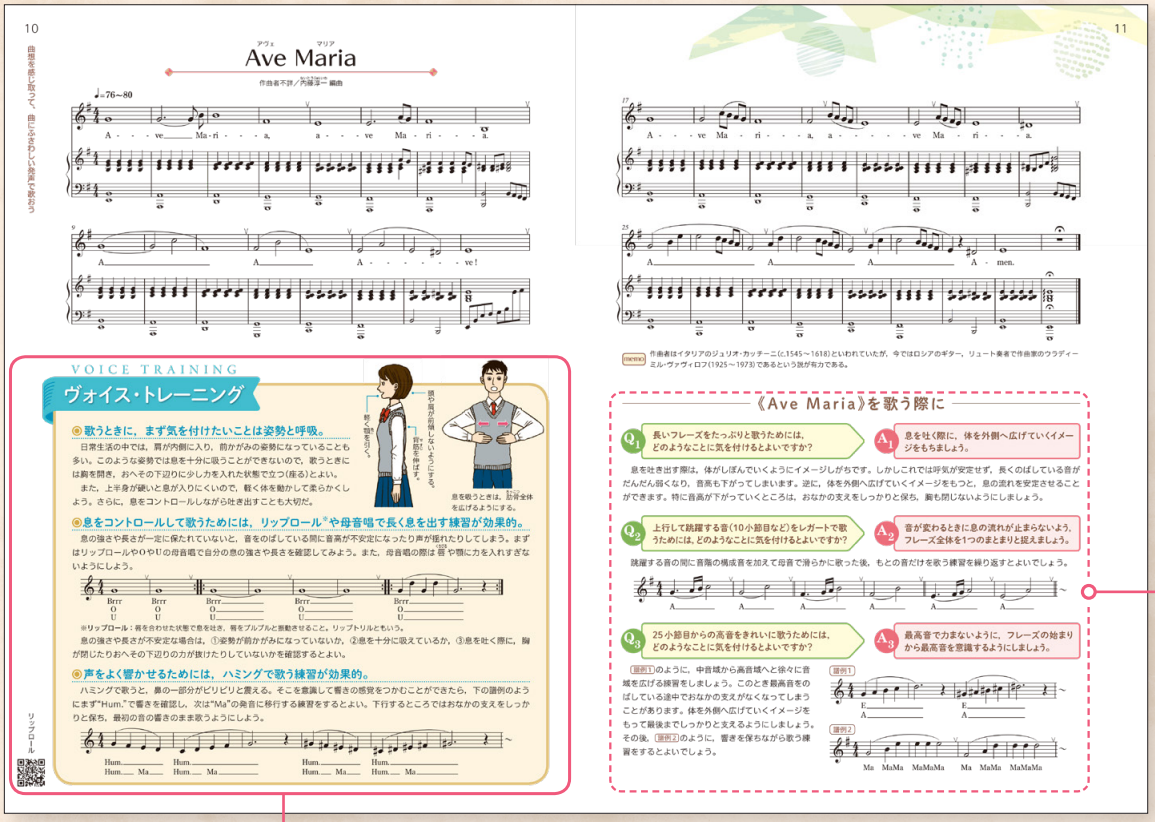
J.S.バッハの活動拠点をもとに時代を分け，そのときに作られた代表曲を挙げています。

（P.142～144）

音楽学習歴も掲載

▼ 発声の基本と実践

基本的な発声法を身に付けるための最適な教材《Ave Maria》を扱ったこのページは，
1年を通して活用することができます。



（P.10・11）

《Ave Maria》を歌う際のポイントをQ&A形式で掲載

「ヴォイス・トレーニング」は，《Ave Maria》だけでなく，
他の歌唱教材にも生かすことができます。

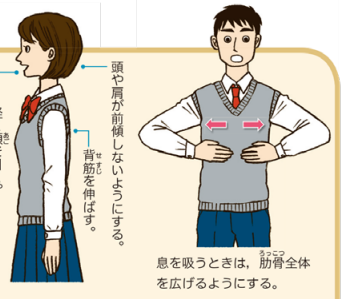
VOICE TRAINING

ヴォイス・トレーニング

◉歌うときに，まず気を付けたいことは姿勢と呼吸。

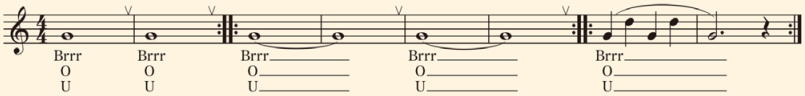
日常生活の中では，肩が内側に入り，前かがみの姿勢になっていることも多い。このような姿勢では息を十分に吸うことができないので，歌うときには胸を開き，おへその下辺りに少し力を入れた状態で立つ（座る）とよい。

また，上半身が硬いと息が入りにくいので，軽く体を動かして柔らかくしよう。さらに，息をコントロールしながら吐き出すことも大切だ。



◉息をコントロールして歌うためには，リップロール※や母音唱で長く息を出す練習が効果的。

息の強さや長さが一定に保たれていないと，音をのばしている間に音高が不安定になったり声が揺れたりしてしまう。まずはリップロールやOやUの母音唱で自分の息の強さや長さを確認してみよう。また，母音唱の際は唇や顎に力を入れすぎないようにしよう。

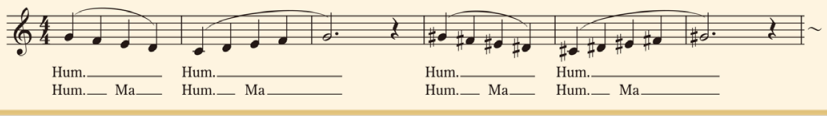


※リップロール：唇を合わせた状態で息を吐き，唇をブルブルと振動させること。リップトリルともいう。

息の強さや長さが不安定な場合は，①姿勢が前かがみになっていないか，②息を十分に吸えているか，③息を吐く際に，胸が閉じたりおへその下辺りの力が抜けたりしていないかを確認するとよい。

◉声をよく響かせるためには，ハミングで歌う練習が効果的。

ハミングで歌うと，鼻の一部分がビリビリと震える。そこを意識して響きの感覚をつかむことができたら，下の譜例のようにまず“Hum.”で響きを確認し，次は“Ma”の発音に移行する練習をするとよい。下行するところではおなかの支えをしっかりと保ち，最初の音の響きのまま歌うようにしよう。



リップロール

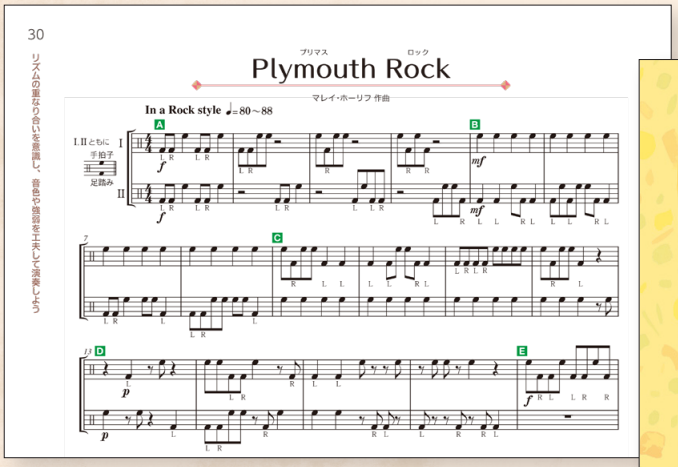
改訂のポイント 2

コミュニケーション力

「主体的・対話的で深い学び」を実現し，思考力，判断力，表現力等を育てます。

▽ 個々の創造性を育むとともに，グループ活動によって協働しながら主体的に取り組むことができる教材

ボディー・パーカッションは楽器を用いないため，無理なく取り組むことができます。



強弱や音色の工夫について説明

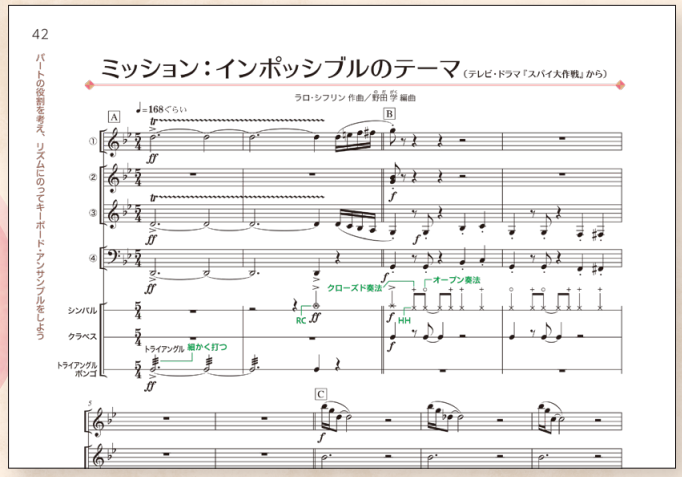
（P.30・31）

▽ グループ活動に効果的なアンサンブル教材が豊富

動画サイトで話題となり，2012年公開のミュージカル映画にも使われた『Cups』のパフォーマンスをもとにした教材を取り上げています。

（P.32・33）

音色を工夫して楽しむキーボード・アンサンブルも掲載

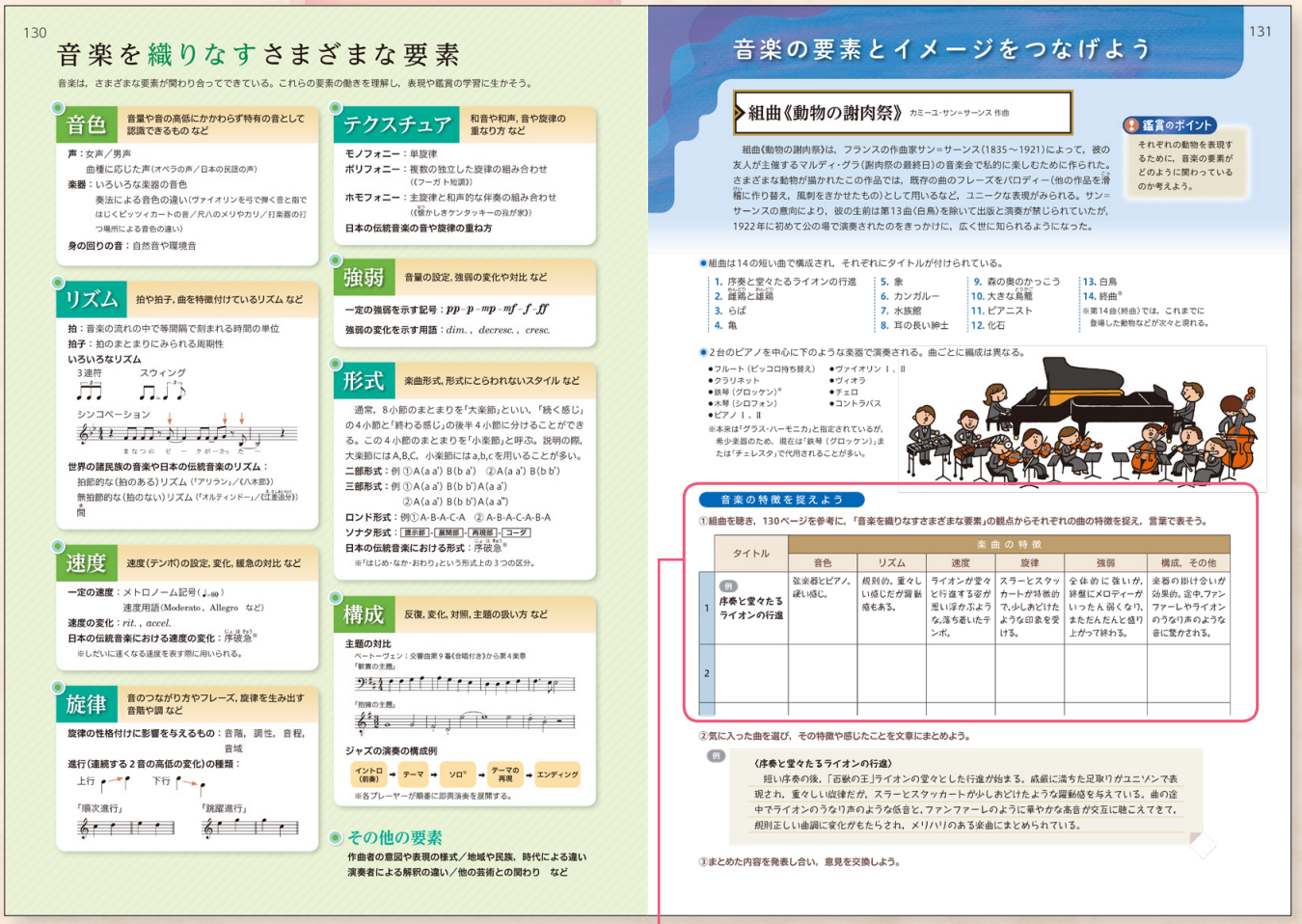


（P.42・43）

▼〔共通事項〕を手がかりに学習を進めることができる教材

「音楽を織りなすさまざまな要素」を参考に，音楽の要素が曲想とどのように関わっているのかを主体的に捉えることができます。

音楽を形づくっている
要素について分かりやすく解説



130

音楽を織りなすさまざまな要素

音楽は，さまざまな要素が関わり合ってできている。これらの要素の働きを理解し，表現や鑑賞の学習に生かそう。

音色　音量や音の高低にかかわらず特有の音として認識できるもの など

声：女声／男声
曲種に応じた声（オペラの声／日本の民謡の声）
楽器：いろいろな楽器の音色
奏法による音色の違い（ヴァイオリンを弓で弾く音と指ではじくピッツィカートの音／尺八のメリやカリ／打楽器の打つ場所による音色の違い）
身の回りの音：自然音や環境音

リズム　拍や拍子，曲を特徴付けているリズム など

拍：音楽の流れの中で等間隔で刻まれる時間の単位
拍子：拍のまとまりにみられる周期性
いろいろなリズム
3連符　スウィング
シンコペーション
世界の諸民族の音楽や日本の伝統音楽のリズム：
拍節的な（拍のある）リズム（『アリラン』／《八木節》）
無拍節的な（拍のない）リズム（『オルティンドー』／《江差追分》）

速度　速度（テンポ）の設定，変化，緩急の対比 など

一定の速度：メトロノーム記号（♩=60）
速度用語（Moderato，Allegro　など）
速度の変化：*rit.*，*accel.*
日本の伝統音楽における速度の変化：序破急※
※しだいに速くなる速度を表す際に用いられる。

旋律　音のつながり方やフレーズ，旋律を生み出す音階や調 など

旋律の性格付けに影響を与えるもの：音階，調性，音程，音域
進行（連続する2音の高低の変化）の種類：
上行　下行
「順次進行」　「跳躍進行」

テクスチュア　和音や和声，音や旋律の重なり方 など

モノフォニー：単旋律
ポリフォニー：複数の独立した旋律の組み合わせ（《フーガト短調》）
ホモフォニー：主旋律と和声的な伴奏の組み合わせ（《懐かしきケンタッキーの我が家》）
日本の伝統音楽の音や旋律の重ね方

強弱　音量の設定，強弱の変化や対比 など

一定の強弱を示す記号：*pp*–*p*–*mp*–*mf*–*f*–*ff*
強弱の変化を示す用語：*dim.*，*decresc.*，*cresc.*

形式　楽曲形式，形式にとらわれないスタイル など

通常，8小節のまとまりを「大楽節」といい，「続く感じ」の4小節と「終わる感じ」の後半4小節に分けることができる。この4小節のまとまりを「小楽節」と呼ぶ。説明の際，大楽節にはA,B,C，小楽節にはa,b,cを用いることが多い。
二部形式：例 ①A(a a') B(b a')　②A(a a') B(b b')
三部形式：例 ①A(a a') B(b b')A(a a')
②A(a a') B(b b')A(a a")
ロンド形式：例①A-B-A-C-A　②A-B-A-C-A-B-A
ソナタ形式：［提示部］-［展開部］-［再現部］-［コーダ］
日本の伝統音楽における形式：序破急※
※「はじめ・なか・おわり」という形式上の3つの区分。

構成　反復，変化，対照，主題の扱い方 など

主題の対比
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱付き》から第4楽章
「歓喜の主題」
「抱擁の主題」
ジャズの演奏の構成例
イントロ（前奏）→ テーマ → ソロ※ → テーマの再現 → エンディング
※各プレーヤーが順番に即興演奏を展開する。

その他の要素
作曲者の意図や表現の様式／地域や民族，時代による違い
演奏者による解釈の違い／他の芸術との関わり　など

131

音楽の要素とイメージをつなげよう

組曲《動物の謝肉祭》 カミーユ・サン＝サーンス 作曲

組曲《動物の謝肉祭》は，フランスの作曲家サン＝サーンス（1835～1921）によって，彼の友人が主催するマルディ・グラ（謝肉祭の最終日）の音楽会で私的に楽しむために作られた。さまざまな動物が描かれたこの作品では，既存の曲のフレーズをパロディー（他の作品を滑稽に作り替え，風刺をきかせたもの）として用いるなど，ユニークな表現がみられる。サン＝サーンスの意向により，彼の生前は第13曲（白鳥）を除いて出版と演奏が禁じられていたが，1922年に初めて公の場で演奏されたのをきっかけに，広く世に知られるようになった。

鑑賞のポイント
それぞれの動物を表現するために，音楽の要素がどのように関わっているのか考えよう。

●組曲は14の短い曲で構成され，それぞれにタイトルが付けられている。

1. 序奏と堂々たるライオンの行進
2. 雌鶏と雄鶏
3. らば
4. 亀
5. 象
6. カンガルー
7. 水族館
8. 耳の長い紳士
9. 森の奥のかっこう
10. 大きな鳥籠
11. ピアニスト
12. 化石
13. 白鳥
14. 終曲※

※第14曲（終曲）では，これまでに登場した動物などが次々と現れる。

●2台のピアノを中心に下のような楽器で演奏される。曲ごとに編成は異なる。
●フルート（ピッコロ持ち替え）　●ヴァイオリン Ⅰ，Ⅱ
●クラリネット　●ヴィオラ
●鉄琴（グロッケン）※　●チェロ
●木琴（シロフォン）　●コントラバス
●ピアノ Ⅰ，Ⅱ
※本来は「グラス・ハーモニカ」と指定されているが，希少楽器のため，現在は「鉄琴（グロッケン）」または「チェレスタ」で代用されることが多い。

音楽の特徴を捉えよう
①組曲を聴き，130ページを参考に，「音楽を織りなすさまざまな要素」の観点からそれぞれの曲の特徴を捉え，言葉で表そう。

	タイトル	楽曲の特徴					
		音色	リズム	速度	旋律	強弱	構成，その他
1	例 序奏と堂々たるライオンの行進	弦楽器とピアノ。硬い感じ。	規則的。重々しい感じだが躍動感もある。	ライオンが堂々と行進する姿が思い浮かぶような，落ち着いたテンポ。	スラーとスタッカートが特徴的で，少しおどけたような印象を受ける。	全体的に強いが，終盤にメロディーがいったん弱くなり，まただんだんと盛り上がって終わる。	楽器の掛け合いが効果的。途中，ファンファーレやライオンのうなり声のような音に驚かされる。
2							

②気に入った曲を選び，その特徴や感じたことを文章にまとめよう。

例
〈序奏と堂々たるライオンの行進〉
短い序奏の後，「百獣の王」ライオンの堂々とした行進が始まる。威厳に満ちた足取りがユニゾンで表現され，重々しい旋律だが，スラーとスタッカートが少しおどけたような躍動感を与えている。曲の途中でライオンのうなり声のような低音と，ファンファーレのように華やかな高音が交互に聴こえてきて，規則正しい曲調に変化がもたらされ，メリハリのある楽曲にまとめられている。

③まとめた内容を発表し合い，意見を交換しよう。

（P.130・131）

音楽の特徴を
言葉で表現

音楽の特徴を捉えよう

①組曲を聴き，130ページを参考に，「音楽を織りなすさまざまな要素」の観点からそれぞれの曲の特徴を捉え，言葉で表そう。

	タイトル	楽曲の特徴					
		音色	リズム	速度	旋律	強弱	構成，その他
1	例 **序奏と堂々たるライオンの行進**	弦楽器とピアノ。硬い感じ。	規則的。重々しい感じだが躍動感もある。	ライオンが堂々と行進する姿が思い浮かぶような，落ち着いたテンポ。	スラーとスタッカートが特徴的で，少しおどけたような印象を受ける。	全体的に強いが，終盤にメロディーがいったん弱くなり，まただんだんと盛り上がって終わる。	楽器の掛け合いが効果的。途中，ファンファーレやライオンのうなり声のような音に驚かされる。
2							

改訂のポイント 3

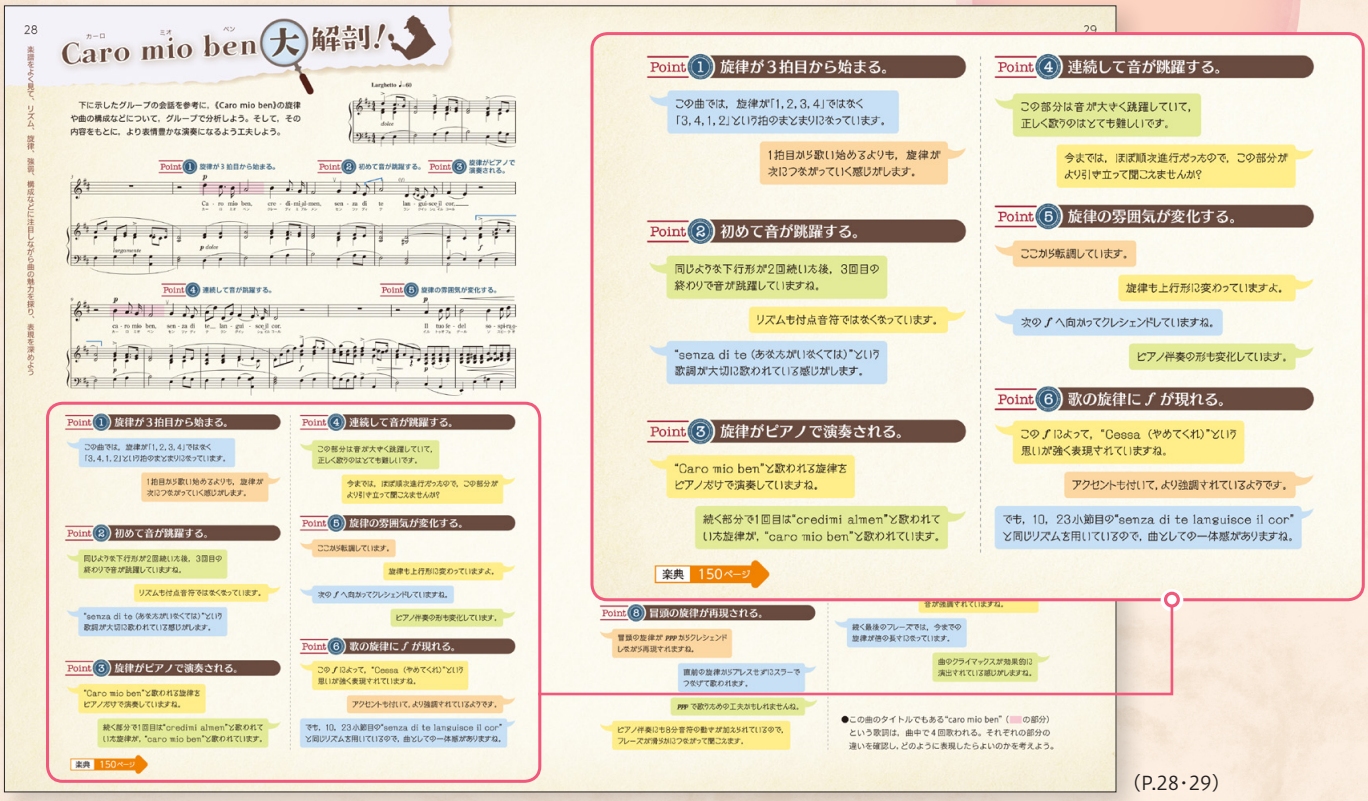
学びに向かう力

学びに向かう力，人間性等を育てます。

▼グループの会話を参考に《Caro mio ben》を分析

「主体的・対話的で深い学び」の本質に触れることができます。

表現豊かな演奏へつなげる
生徒どうしの会話

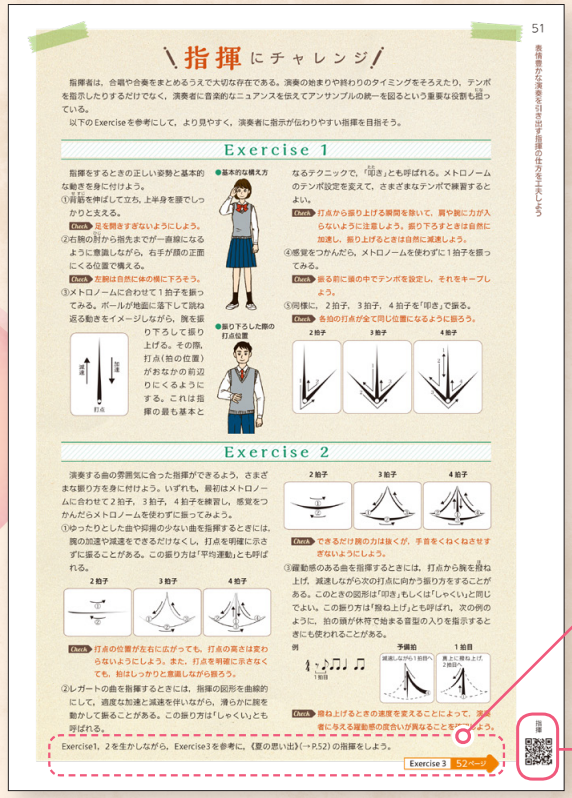


（P.28・29）

▶表現方法について深く考えることができる指揮の実習

指揮の基本的な動きを身に付けることができます。

指揮の振り方を
丁寧に解説

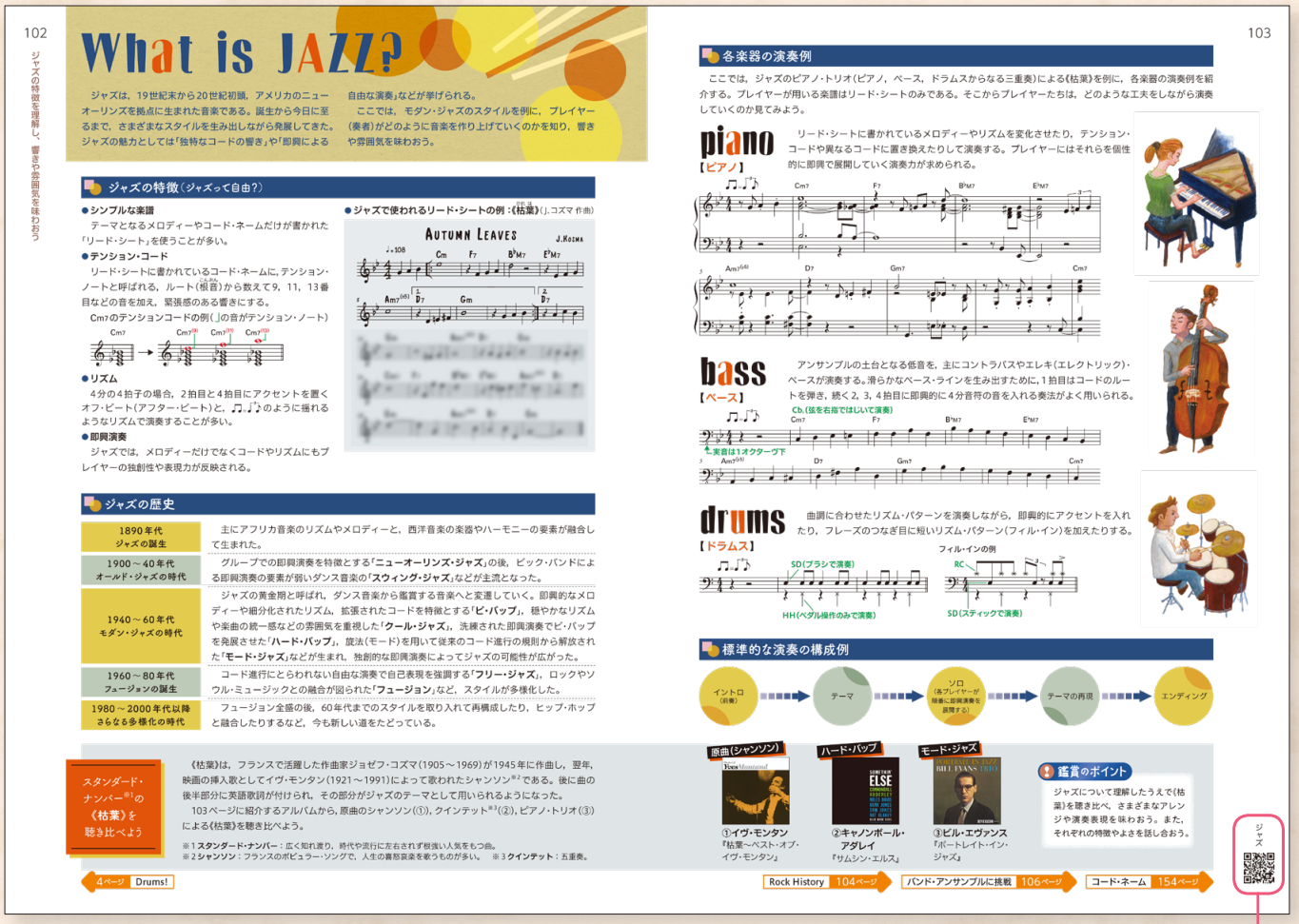


（P.51）

次のページでは，
《夏の思い出》を用いて
実践的に学びます。

▽ 生徒の興味・関心や意欲を高めるような紙面の工夫

ジャズを学ぶ際のさまざまな観点を提示しています。



102

ジャズの特徴を理解し，響きや雰囲気を味わおう

What is JAZZ?

ジャズは，19世紀末から20世紀初頭，アメリカのニューオーリンズを拠点に生まれた音楽である。誕生から今日に至るまで，さまざまなスタイルを生み出しながら発展してきた。ジャズの魅力としては「独特なコードの響き」や「即興による自由な演奏」などが挙げられる。

ここでは，モダン・ジャズのスタイルを例に，プレイヤー（奏者）がどのように音楽を作り上げていくのかを知り，響きや雰囲気を味わおう。

ジャズの特徴（ジャズって自由？）

●**シンプルな楽譜**

テーマとなるメロディーやコード・ネームだけが書かれた「リード・シート」を使うことが多い。

●**テンション・コード**

リード・シートに書かれているコード・ネームに，テンション・ノートと呼ばれる，ルート（根音）から数えて9，11，13番目などの音を加え，緊張感のある響きにする。

Cm7のテンションコードの例（♩の音がテンション・ノート）

●**リズム**

4分の4拍子の場合，2拍目と4拍目にアクセントを置くオフ・ビート（アフター・ビート）と，♫♩♪のように揺れるようなリズムで演奏することが多い。

●**即興演奏**

ジャズでは，メロディーだけでなくコードやリズムにもプレイヤーの独創性や表現力が反映される。

●**ジャズで使われるリード・シートの例：《枯葉》**（J. コズマ 作曲）

AUTUMN LEAVES　J. KOSMA

ジャズの歴史

1890年代 ジャズの誕生	主にアフリカ音楽のリズムやメロディーと，西洋音楽の楽器やハーモニーの要素が融合して生まれた。
1900～40年代 オールド・ジャズの時代	グループでの即興演奏を特徴とする「**ニューオーリンズ・ジャズ**」の後，ビッグ・バンドによる即興演奏の要素が弱いダンス音楽の「**スウィング・ジャズ**」などが主流となった。
1940～60年代 モダン・ジャズの時代	ジャズの黄金期と呼ばれ，ダンス音楽から鑑賞する音楽へと変遷していく。即興的なメロディーや細分化されたリズム，拡張されたコードを特徴とする「**ビ・バップ**」，穏やかなリズムや楽曲の統一感などの雰囲気を重視した「**クール・ジャズ**」，洗練された即興演奏でビ・バップを発展させた「**ハード・バップ**」，旋法（モード）を用いて従来のコード進行の規則から解放された「**モード・ジャズ**」などが生まれ，独創的な即興演奏によってジャズの可能性が広がった。
1960～80年代 フュージョンの誕生	コード進行にとらわれない自由な演奏で自己表現を強調する「**フリー・ジャズ**」，ロックやソウル・ミュージックとの融合が図られた「**フュージョン**」など，スタイルが多様化した。
1980～2000年代以降 さらなる多様化の時代	フュージョン全盛の後，60年代までのスタイルを取り入れて再構成したり，ヒップ・ホップと融合したりするなど，今も新しい道をたどっている。

スタンダード・ナンバー※1**の《枯葉》を聴き比べよう**

《枯葉》は，フランスで活躍した作曲家ジョゼフ・コズマ（1905～1969）が1945年に作曲し，翌年，映画の挿入歌としてイヴ・モンタン（1921～1991）によって歌われたシャンソン※2である。後に曲の後半部分に英語歌詞が付けられ，その部分がジャズのテーマとして用いられるようになった。

103ページに紹介するアルバムから，原曲のシャンソン（①），クインテット※3（②），ピアノ・トリオ（③）による《枯葉》を聴き比べよう。

※1 **スタンダード・ナンバー**：広く知れ渡り，時代や流行に左右されず根強い人気をもつ曲。
※2 **シャンソン**：フランスのポピュラー・ソングで，人生の喜怒哀楽を歌うものが多い。　※3 **クインテット**：五重奏。

原曲（シャンソン）
①イヴ・モンタン
『枯葉～ベスト・オブ・イヴ・モンタン』

ハード・バップ
②キャノンボール・アダレイ
『サムシン・エルス』

モード・ジャズ
③ビル・エヴァンス
『ポートレイト・イン・ジャズ』

鑑賞のポイント

ジャズについて理解したうえで《枯葉》を聴き比べ，さまざまなアレンジや演奏表現を味わおう。また，それぞれの特徴やよさを話し合おう。

4ページ Drums!

103

各楽器の演奏例

ここでは，ジャズのピアノ・トリオ（ピアノ，ベース，ドラムスからなる三重奏）による《枯葉》を例に，各楽器の演奏例を紹介する。プレイヤーが用いる楽譜はリード・シートのみである。そこからプレイヤーたちは，どのような工夫をしながら演奏していくのか見てみよう。

piano【ピアノ】

リード・シートに書かれているメロディーやリズムを変化させたり，テンション・コードや異なるコードに置き換えたりして演奏する。プレイヤーにはそれらを個性的に即興で展開していく演奏力が求められる。

bass【ベース】

アンサンブルの土台となる低音を，主にコントラバスやエレキ（エレクトリック）・ベースが演奏する。滑らかなベース・ラインを生み出すために，1拍目はコードのルートを弾き，続く2，3，4拍目に即興的に4分音符の音を入れる奏法がよく用いられる。

Cb.（弦を右指ではじいて演奏）
来音は1オクターヴ下

drums【ドラムス】

曲調に合わせたリズム・パターンを演奏しながら，即興的にアクセントを入れたり，フレーズのつなぎ目に短いリズム・パターン（フィル・イン）を加えたりする。

SD（ブラシで演奏）
HH（ペダル操作のみで演奏）
フィル・インの例
RC
SD（スティックで演奏）

標準的な演奏の構成例

イントロ（前奏）→ テーマ → ソロ（各プレイヤーが順番に即興演奏を展開する）→ テーマの再現 → エンディング

Rock History 104ページ　バンド・アンサンブルに挑戦 106ページ　コード・ネーム 154ページ

ジャズ

（P.102・103）

▽ 学習をサポートするQRコード

実際に目や耳で確認することで，知識を確かなものにします。

指揮の振り方を動画で分かりやすく解説

ジャズの演奏を映像で鑑賞

歌唱

多感な時期にある生徒が楽しく幅広く音楽を学習することができるよう教材を精選し，提示の仕方を工夫しながら，ポピュラー・ソング，唱歌，芸術歌曲，合唱曲，ミュージカル・ナンバー，オペラ・アリアなどを取りそろえました。特に，長い間歌い継がれ，親しまれてきた曲を豊富に収録するとともに，我が国の伝統的な歌唱も学習できるよう，能の謡を取り上げました。

ポピュラー・ソング

広く親しまれている《翼をください》《見上げてごらん夜の星を》《Memory》の他，生徒の心に響くポピュラー・ソングを新たに５曲加えました。

現在までの推移を10年ごとに区切り，
それぞれの時代を彩った歌を１曲ずつ選びました。

2010年代《Lemon》(P.12・13)

2000年代《若者のすべて》(P.16・17)

1990年代《負けないで》(P.15)

1980年代《クリスマス・イブ》(P.115)

1970年代《翼をください》(P.14)

1960年代
《見上げてごらん夜の星を》(P.64・65)

1940年代《東京ブギウギ》(P.114)

(P.112・113)

「歌謡曲からJ-POPへの100年」では，
歌謡曲からJ-POPに
推移していく100年の間の，
楽曲の制作方法に着目

日本の歌曲

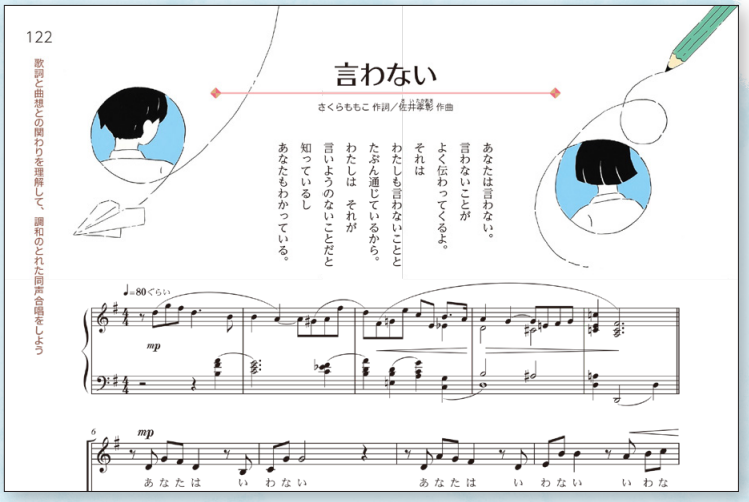
各曲に縦書き歌詞と伴奏譜を掲載しています。

掲載曲：《小さな空》武満徹(P.22・23)／《むこうむこう》中田喜直(P.48)／《この道》山田耕筰(P.50)

合唱曲，ヴォイス・アンサンブル

三宅悠太氏の《ぼくは　ぼく》（混三／伴奏付き）に加え，木下牧子氏の《おんがく》（混四ア・カペラ），佐井孝彰氏の《言わない》（同三／伴奏付き）を新たに収録しました。その他，取り組みやすいア・カペラの入門曲やミュージカル・ナンバーも取りそろえました。

本書のための書き下ろし作品



(P.122～124)

伴奏付きで，
縦書き歌詞も掲載

●ミュージカル・ナンバー
《美女と野獣》(P.70・71)

●ヴォイス・アンサンブル
《サザエさん》(P.110・111)

●ア・カペラの入門曲
《懐かしきケンタッキーの我が家》(P.121)

心の歌

歌い継いでいきたい日本の歌を「心の歌」と題し，四季折々の美しい自然が感じられる曲を取りそろえました。斉唱，同声合唱，混声合唱など，さまざまな曲態で楽しめます。各曲とも縦書き歌詞を掲載しています。

掲載曲：《花》(P.21)／《夏の思い出》(P.52･53)／《虫のこえ》(P.85)／《冬景色》(P.118)／《故郷》(P.119)

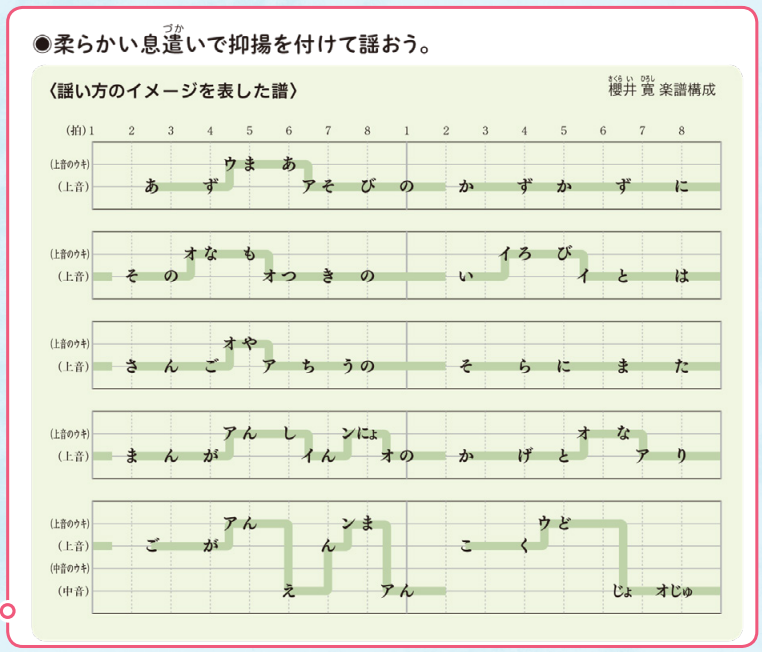
日本の伝統的な歌唱

日本の伝統音楽への理解を深めることができるよう，能の謡を取り上げました。

掲載曲：《高砂》(P.80)／《羽衣》(P.81)

（P.81）

謡い方のイメージを表した譜



外国の歌曲

イタリア語とドイツ語の歌曲は定番曲を取りそろえました。日本語詞と原語歌詞の他，原語歌詞の意味も掲載しています。フランス語はポピュラー・ソングを取り上げました。

●イタリア語の歌曲

掲載曲：《'O sole mio》(P.25)
《Caro mio ben》(P.26･27)

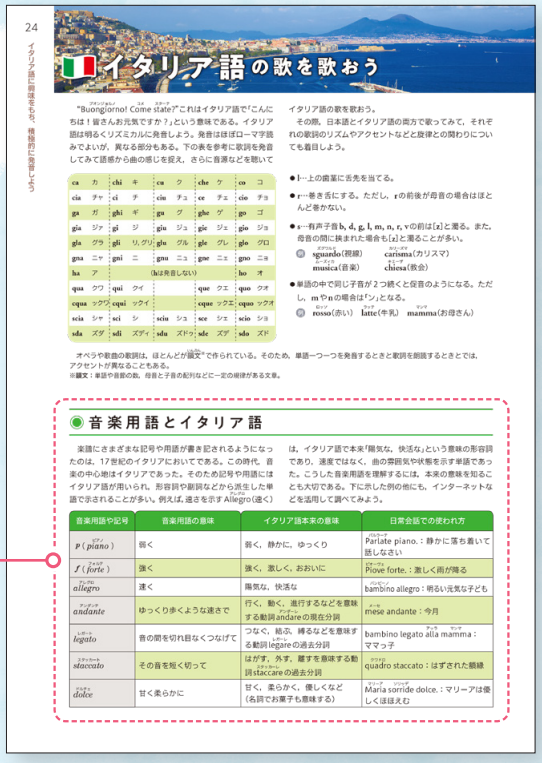
●ドイツ語の歌曲

掲載曲：《Heidenröslein》シューベルト(P.56)
《Heidenröslein》ヴェルナー(P.57)
《Ich liebe dich》(P.58･59)

●フランス語のポピュラー・ソング

掲載曲：《オー・シャンゼリゼ》(P.76･77)

ドイツ語やフランス語についても同様に，発音の基本を解説



（P.24）

器楽

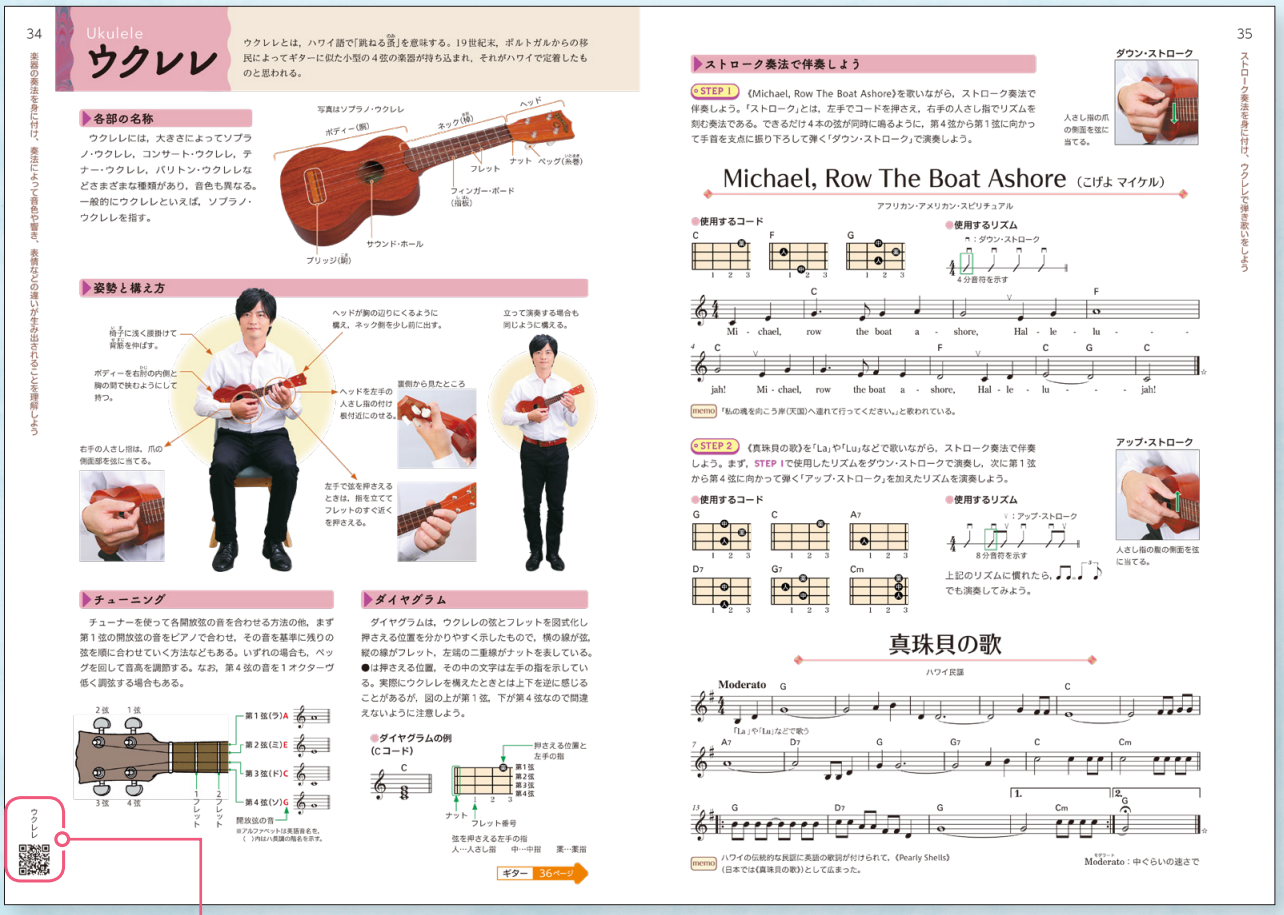
楽器や奏法の説明と，実際に演奏する曲の楽譜を見開きに配置し，常に確認しながら演奏できるよう紙面構成を工夫しました。また，ボディー・パーカッション，チャイムなど，グループ活動で協働しながら学習を進めることのできる教材や，さまざまな楽器編成によるアンサンブル教材など，バラエティー豊かな曲を取りそろえました。

ウクレレ

コード演奏やストローク奏法を無理なく楽しめるウクレレの教材を新たに掲載しました。
楽器や奏法についても詳細に説明しています。

掲載曲：《Michael, Row The Boat Ashore》(P.35)／《真珠貝の歌》(P.35)

楽器や奏法の説明と演奏する曲の楽譜を見開きに配置



実際の演奏方法を動画で確認

(P.34・35)

ギター

3つのコードで演奏できる曲を取り上げ，ストローク奏法を学習します。
また，メロディーと伴奏（和音と低音）に分かれて楽しむことのできるアンサンブル曲も掲載しました。

掲載曲：《日曜日よりの使者》(P.38・39)／《第三の男のテーマ》(P.40)

アンサンブル

キーボード・アンサンブル用に編曲した《ミッション：インポッシブルのテーマ》を新たに掲載しました。
また，ボディー・パーカッションやチャイムのアンサンブルでは，演奏する際の注意点や工夫例などを示し，グループで楽しみながら表現を深められるようにしています。

リコーダー

各学校や生徒の実態を考慮し，ソプラノとアルトのどちらでも演奏できる曲や，
アルトの二重奏もしくはソプラノとアルトの二重奏で演奏できる曲などを収録しました。

掲載曲：《天国と地獄》(P.62)／《C-a-f-f-e-e》(P.62)／《グリーンスリーヴス》(P.62)／《ザナルカンドにて》(P.63)

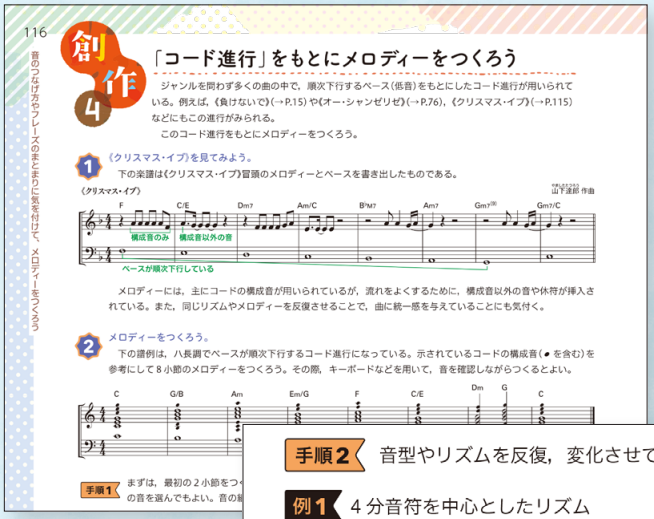
和楽器

各学校の実態に応じてさまざまな和楽器を選択できるよう，篠笛，三線，三味線，箏の4種類を取り上げました。楽器や奏法の説明と演奏する曲の楽譜をそれぞれ見開きに配置しています。

創作

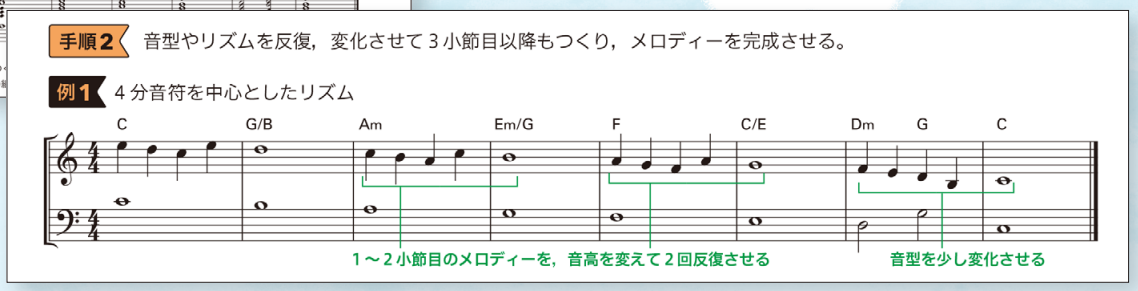
表現したいイメージを着実に作品にしていくことができるよう，具体的な例を挙げながら簡潔かつ丁寧に手順を示しました。また，歌唱や器楽の教材と関連付けることにより，取りかかりやすくなるだけでなく表現も深められるようにしています。

●ポピュラー音楽でよく用いられるコード進行をもとに，楽しみながらメロディーづくりに取り組みます。

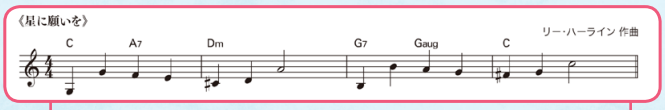


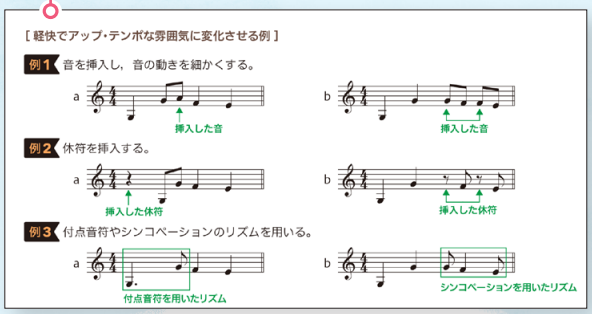
（P.116・117）

順次下行する
ベースを使用した
創作例



●《星に願いを》のメロディーを用いて，変奏と編曲に取り組みます。

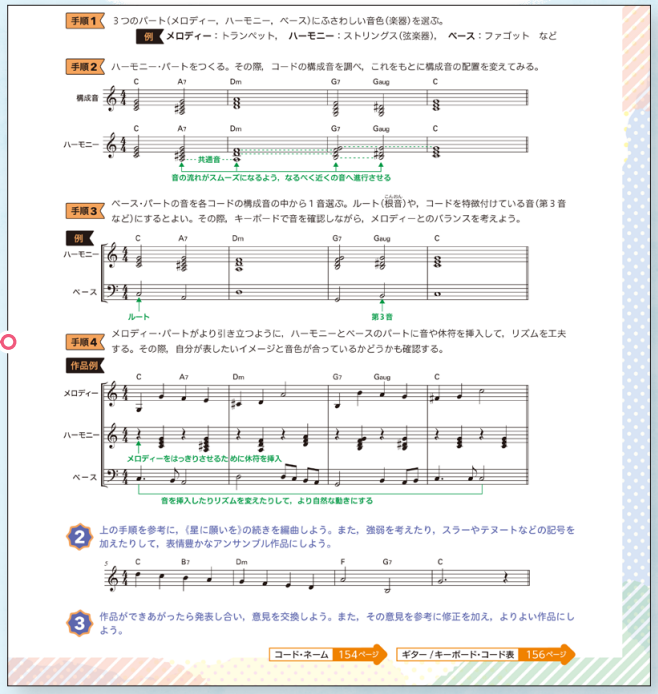




（P.46）

創作1では，変奏方法の例を
分かりやすく提示

創作2では，キーボード・アンサンブルに
よる三重奏用の編曲手順を詳細に解説



（P.47）

●オノマトペを用いてリズム・アンサンブルをつくり，五線譜以外の方法で記録するユニークなグループ活動に取り組みます。
（P.86・87）

鑑賞

西洋音楽，日本の伝統音楽，世界の諸民族の音楽の全てにおいて「鑑賞のポイント」を示し，生徒が声や楽器の音色の特徴を感じ取ったり，音楽を形づくっている要素に着目したりすることができるようにしました。また，ジャズやロックをジャンルごとに掲載し，鑑賞と表現とを関連付けてより深く学習できるよう配慮しました。

西洋音楽

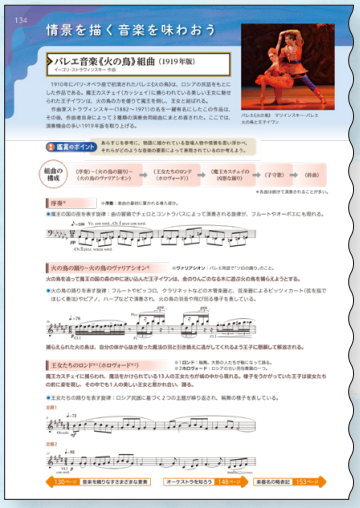
音楽を形づくっている要素の働きや表現方法の多様性を感じ取ることができる教材を精選しました。

組曲《動物の謝肉祭》(P.131)

交響曲第9番《合唱付き》から第4楽章(P.132・133)

バレエ音楽《火の鳥》組曲(1919年版)(P.134・135)

ピアノによるさまざまな表現効果を聴き取ろう(P.136・137)



(P.134・135)

バレエ音楽《火の鳥》組曲は，各曲と物語のあらすじを結び付けることで，音楽の描く情景を容易に思い浮かべることができます。

日本の伝統音楽

それぞれの音楽の特徴を比較することができるよう，多種目の伝統音楽を取り上げました。日本音楽の流れを概観できる紙面構成になっているので，文化的・歴史的背景も学ぶことができます。

貴族社会と武家社会という対照的な時代背景の中で整えられた雅楽と能を鑑賞

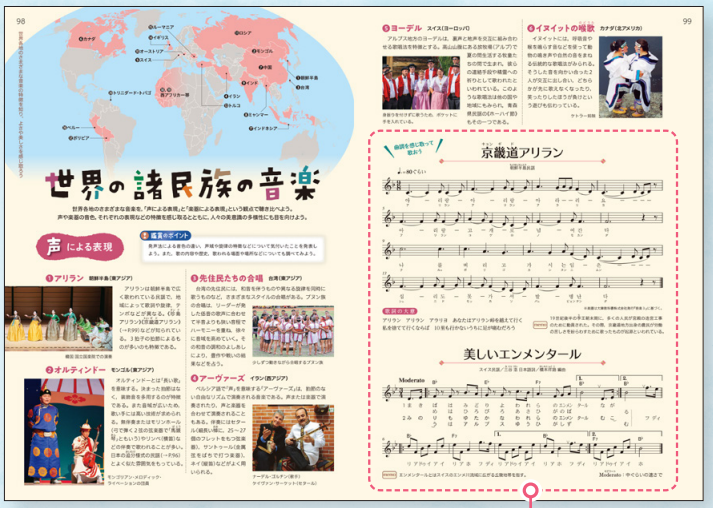
(P.78・79)

総合芸術である舞楽と能の鑑賞のポイントについては，音源のみで鑑賞する場合も想定して示しています。

世界の諸民族の音楽

「声による表現」と「楽器による表現」という観点から，合わせて20種類の音楽を取り上げました。人々の美意識の多様性に目を向けることができるようになっています。

全ての音楽に写真が掲載され，参考資料としても活用できます。



(P.98～101)

実際に歌うことで表現の特徴を感じ取るための教材

オペラ

《カルメン》(P.72・73)

場面の状況や登場人物の心情などを把握しやすいことから《カルメン》を取り上げました。また，歌唱教材として厳選された2曲のアリアは，声楽家の宮本益光氏による日本語詞によって心情を捉えやすく，表情豊かに歌うことができます。

●オペラ・アリア **《ハバネラ》**(P.74)

《闘牛士の歌》(P.75)

ジャズ

What is JAZZ?(P.102・103)

ジャズのプレイヤーがどのように音楽を作り上げていくのか，ピアノ・トリオを例に，実際に《枯葉》を演奏して体験できるよう紙面を工夫しました。

ロック

Rock History(P.104・105)

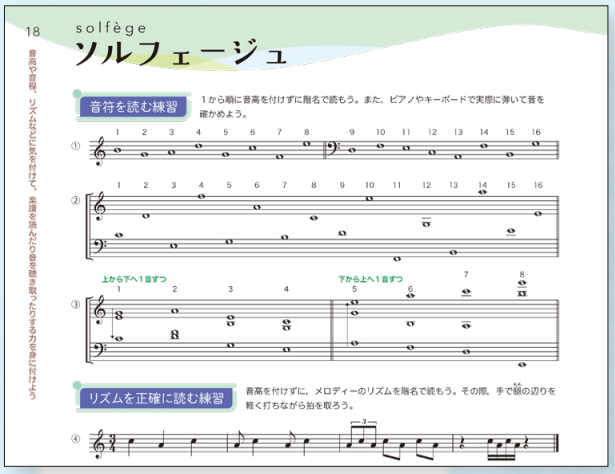
ジャズとともにポピュラー音楽の中心として発展を遂げてきたロック。1980年代を頂点とした歴史の流れについて，各ジャンルや代表的なアーティスト，曲やアルバムなどを紹介しながらまとめています。

資料

音楽を学習するうえで必要となる基礎的・基本的な知識の習得や，教科書の学習活動をサポートするコーナーを設けることで，生徒の表現と鑑賞の能力を育て，興味をもって主体的に学習できるようにしました。多くの生徒にとって「音楽を学ぶ」機会が音楽Ⅰで終わってしまう実情を踏まえ，卒業後も手元に残しておきたいと思える教科書になるような資料を豊富に取りそろえました。

基礎・基本の力

「ソルフェージュ」「楽典」などを取り上げ，音楽の基礎的・基本的な能力の定着を図れるようにしました。



（P.18～20）

「楽譜を読めるようになった」と
実感できるよう，豊富な課題を提示

歴史

「日本音楽の流れ」「西洋音楽の流れ」を簡潔にまとめて示し，鑑賞の際に歴史的背景も知ることができるようにしました。また，「郷土の民謡と芸能」「歌謡曲からJ-POPへの100年」においても，その歴史や背景を知って親しむことができるようにしました。

日本音楽の流れ（P.82～84）

西洋音楽の流れ（P.138～141）

郷土の民謡と芸能（P.96・97）

歌謡曲からJ-POPへの100年（P.112・113）

音楽の楽しみ

生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むことができるよう，さまざまな音楽に接する際の切り口を多様な観点から示しました。

Drums! 鼓動は時空を超えて（P.4・5）

アレンジャーは曲に魔法をかける（P.13）

舞台芸術（P.66・67）

演奏会や観劇に行こう（P.69）

その他の資料

表現と鑑賞とを関連付けたページを含め，これまでに紹介した資料の他にも，教科書の学習活動をサポートするだけでなく卒業後も活用できる資料を豊富に取りそろえました。

ルールを守って音楽を楽しもう！（P.31）

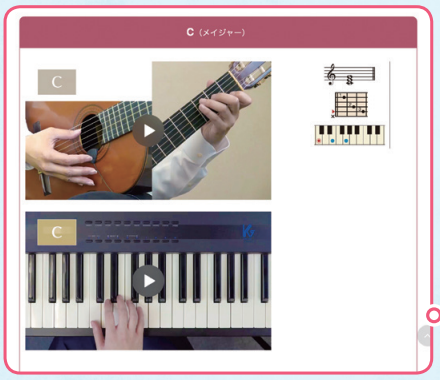
オーケストラを知ろう（P.148・149）

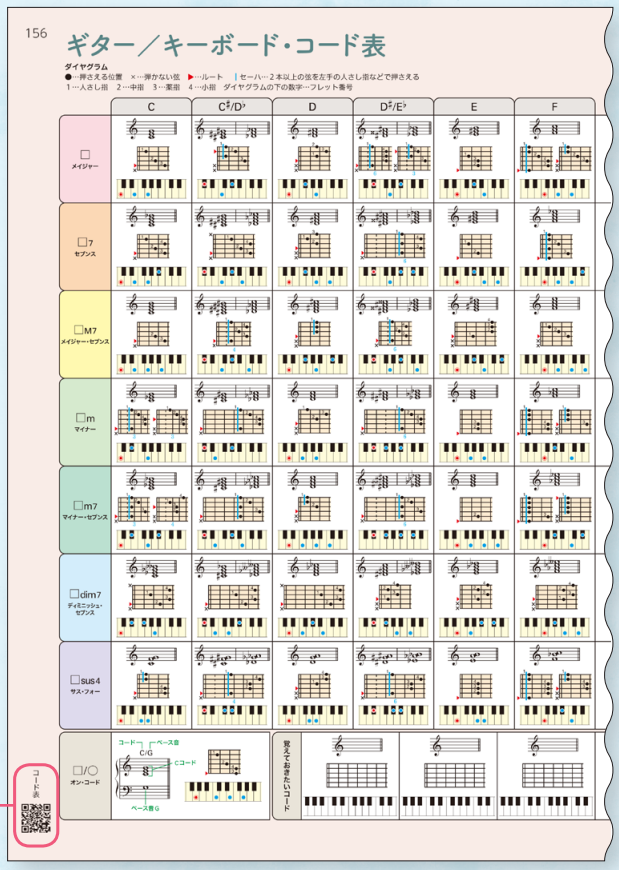
コード・ネーム（P.154・155）

ギター／キーボード・コード表（P.156・157）

作曲家の年表と主な作品（P.158・159）

コードの押さえ方を動画で確認





（P.156・157）

年間指導計画例

月	配当時間	題材名	題材のねらい	学習目標	主な教材
4 5 6 7	5	**曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう**	曲にふさわしい発声などの技能を身に付けるとともに，曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し，表現を工夫して表情豊かに歌う	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して歌う	校歌/Ave Maria 「ヴォイス・トレーニング」/小さな空 'O sole mio
	3	**ボディー・パーカッションや“Cups”に挑戦しよう**	ボディー・パーカッションや身近にあるコップなどを用いたリズム表現を通して音色や奏法，表現を工夫し，他者と協働しながら演奏する喜びを味わう	曲想と音色や奏法との関わりを理解し，曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けるとともに，他者と協働しながらイメージをもって表現を工夫して演奏する	Plymouth Rock Clap,Tap with CUPS! ソルフェージュ⑰～㉑
	4	**表現を工夫してリコーダーを演奏しよう**	リコーダーの奏法を身に付けるとともに，曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し，表現を工夫して演奏する	曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりを理解し，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して演奏する	見上げてごらん夜の星を/天国と地獄 C-a-f-f-e-e/グリーンスリーヴス ザナルカンドにて
	4	**J-POPや歌謡曲の特徴を理解して歌おう**	J-POPや歌謡曲を取り上げ，曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し，イメージをもって歌うとともに，自分や社会と音楽との関わりを考える	曲想と音楽の構造や歌詞，文化的背景との関わりを理解し，曲にふさわしい歌唱表現の技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して歌うとともに，自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考える	Lemon/翼をください/負けないで 若者のすべて/東京ブギウギ/クリスマス・イブ/「歌謡曲からJ-POPへの100年」 「ルールを守って音楽を楽しもう！」
	3	**「コード進行」をもとにメロディーをつくろう**	多くの曲に用いられているコード進行をもとに，音のつなげ方やフレーズのまとまり，重なりによる響きを理解し，さまざまな手法を活用しながらイメージをもって創作する	音のつなげ方やフレーズのまとまり，重なりによる響きを理解し，反復，変化などの手法を活用してメロディーをつくる技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して創作する	「『コード進行』をもとにメロディーをつくろう」 「コード・ネーム」
	5	**音楽を形づくっている要素に注目して，曲のよさや美しさを探ろう**	声やさまざまな楽器が生み出す響きやその特徴が，どのような要素やそれらの働きによってもたらされているのかを探るとともに，音楽のよさや美しさを味わう	音楽を形づくっている要素やそれらの働きに注目しながら曲を聴き，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解するとともに，根拠をもって曲や演奏を批評する	「音楽を織りなすさまざまな要素」 組曲《動物の謝肉祭》/交響曲第９番《合唱付き》から第４楽章/バレエ音楽《火の鳥》組曲 「西洋音楽の流れ」/「オーケストラを知ろう」
	2	**能や謡に親しもう**	実際に謡を体験して能の音楽の特徴を理解するとともに，能の魅力を味わう	能の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり，言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解し，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けながら，表現を工夫して謡う	歌唱：《高砂》/《羽衣》 鑑賞：能《道成寺》/「舞台芸術」
9 10 11 12	6	**表現を工夫してギターやウクレレを演奏しよう**	ギターやウクレレの奏法を身に付けるとともに，曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し，表現を工夫して演奏する	曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関わりを理解し，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して演奏する	ギター：日曜日よりの使者/第三の男のテーマ ウクレレ：Michael，Row The Boat Ashore/真珠貝の歌
	8	**日本や諸外国の歌曲に親しみ，表現を工夫して独唱しよう**	さまざまな言語による歌曲に親しみ，それぞれの特徴を理解するとともに，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，表現を工夫して独唱する	曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わりを理解し，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して歌う	むこうむこう/この道/「日本語と旋律」 「詩の心を大切に歌おう」/「日本語の歌詞の歌い方」/Caro mio ben/「Caro mio ben 大解剖！」/Heidenröslein（シューベルト/ヴェルナー）/Ich liebe dich オー・シャンゼリゼ
	2	**発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくろう**	オノマトペのもつリズム感やアクセントなどのおもしろさを生かして，他者と協働しながら表現を工夫してリズム・アンサンブルをつくったり演奏したりする	オノマトペを音素材として用い，それを連ねたり重ねたりしたときの響きの特徴を理解するとともに，反復，変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して創作する	創作：「オノマトペでリズム・アンサンブルをつくろう」 歌唱：虫の声
	8	**表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをしよう**	各パートの役割を理解するとともに，全体の響きをイメージしながら表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをする喜びを味わう	合唱やヴォイス・アンサンブルによる表現の特徴を理解し，それを生かして歌ったり，他者との調和を意識して歌ったりする技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して歌う	花/夏の思い出/「指揮にチャレンジ」 故郷/懐かしきケンタッキーの我が家 サザエさん/言わない/ぼくは　ぼくおんがく
	4	**和楽器に親しみ，演奏に挑戦しよう**	和楽器に親しみ，その音色や表現の特徴を味わうとともに，奏法を身に付け，曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し，表現を工夫して演奏する	曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して演奏する	器楽：篠笛/三線/三味線/箏から選曲 鑑賞：箏曲《みだれ（乱輪舌）》
	2	**世界の諸民族の音楽を知ろう**	世界各地の音楽を，声や楽器に着目して鑑賞したり歌ったりしながら，その音色や表現の特徴を理解する	世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解し，音楽表現の共通性や固有性について考えるとともに，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して歌う	鑑賞：「世界の諸民族の音楽」 歌唱：京畿道アリラン 美しいエンメンタール
1 2 3	4	**ミュージカル・ナンバーを歌おう**	物語のあらすじや歌詞の内容，登場人物の心情などを理解し，曲にふさわしい表現を工夫して歌う	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して歌う	歌唱：Memory/美女と野獣 鑑賞：ミュージカル《キャッツ》 ミュージカル映画『美女と野獣』
	2	**作曲家の生涯と作品をたどろう**	J.S.バッハやW.A.モーツァルトの生涯をたどりながら，それぞれの作品の特徴を理解し，魅力を味わう	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解するとともに，根拠をもって曲や演奏を批評する	「クローズ・アップ・マエストロ」 J.S.バッハ/W.A.モーツァルト
	4	**オペラに親しみ，アリアに挑戦しよう**	物語のあらすじや歌詞の内容，登場人物の心情などを理解し，曲にふさわしい表現を工夫して歌う	音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わり，曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して歌う	歌唱：ハバネラ/闘牛士の歌 鑑賞：オペラ《カルメン》/「舞台芸術」
	4	**さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう**	各パートの役割を理解するとともに，全体の響きをイメージしながら表現を工夫して器楽アンサンブルをする喜びを味わう	器楽アンサンブルによる表現の特徴を理解し，それを生かして演奏したり，他者との調和を意識して演奏したりする技能を身に付けながら，イメージをもって表現を工夫して演奏する	ミッション：インポッシブルのテーマ タイムマシンにおねがい/星に願いを

主な学習活動	学習指導要領の内容																																	
	A表現																			B鑑賞						〔共通事項〕								内容の取扱い
	(1)歌唱							(2)器楽							(3)創作					(1)鑑賞						音楽を形づくっている要素								
	ア	イ			ウ			ア	イ			ウ			ア	イ	ウ			ア			イ			音色	リズム	速度	旋律	テクスチュア	強弱	形式	構成	
		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)			(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)									
・曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などに留意して歌い，表現に必要な技能を身に付ける ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら，曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する ・イメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する	●	●	●	●	●	●	●																			●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4)
・リズムを正確に捉えるとともに，その重なり合いやつながりを意識して演奏する ・曲想に合った音色や奏法，パフォーマンスなどの技能を身に付け，表現を工夫する ・共通のイメージをもって，曲の特徴を生かした表現ができるよう試行錯誤したり意見を交換したりしながら演奏する								●	●	●	●	●	●	●												●	●	●		●	●	●	●	(2) (4) (5) (8)
・曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し，表現に必要な技能を身に付ける ・演奏したり互いに聴き合ったりしながら，曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する ・イメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する								●	●	●	●	●	●	●												●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4)
・曲について調べたり意見を交換したりして曲想と音楽の構造や歌詞，文化的背景との関わりを理解するとともに，自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考える ・イメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する	●	●	●	●	●	●	●													●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4) (8) (11)
・コードの構成音をもとに音の組み合わせ方やつなげ方を試しながら，自分の表したいイメージに合うメロディーをつくる ・反復，変化などの手法を用いてメロディーをつくったり，つくったメロディーにもう一つのメロディーを重ねたりする技能を身に付ける															●	●	●	●								●	●		●	●		●	●	(2) (3) (4) (7)
・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きに注目しながら鑑賞する ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深める ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う																				●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4) (8)
・能を鑑賞したり能について調べたりしながら，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解する ・曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などに留意して謡い，表現に必要な技能を身に付ける	●	●	●	●	●	●	●													●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4) (6) (9)
・曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し，表現に必要な技能を身に付ける ・演奏したり互いに聴き合ったりしながら，曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する ・イメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する								●	●	●	●	●	●	●												●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4)
・曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などに留意して歌い，表現に必要な技能を身に付ける ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら，曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わりを理解する ・イメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する	●	●	●	●	●	●	●																			●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4)
・オノマトペのもつリズム感やアクセントなどのおもしろさを生かして，それを連ねたり重ねたりしながら，パートの組み合わせなどを工夫してリズム・アンサンブルをつくる ・反復，変化などの手法を用いてリズム・アンサンブルをつくる技能を身に付ける ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら，曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する ・イメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する	●	●	●	●	●	●	●								●	●	●									●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (3) (4) (7) (10)
・一人一人が主体性を発揮しながら，他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける ・各パートや指揮者の役割を理解するとともに，全体の響きやハーモニーをイメージしながら演奏する ・共通のイメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する	●	●	●	●	●	●	●																			●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4)
・曲にふさわしい奏法，身体の使い方などに留意して演奏し，表現に必要な技能を身に付ける ・演奏したり鑑賞したりしながら，曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する ・イメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する								●	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4) (6) (9)
・世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら鑑賞する ・それぞれの音楽表現の共通性や固有性について気付いたことや考えたことを述べ合い，理解を深める ・アリランとヨーデルの声の音色，リズム，旋律などの特徴を理解し，曲にふさわしい発声で歌い，表現に必要な技能を身に付ける	●	●	●	●	●	●	●													●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4) (8) (9)
・ミュージカルを鑑賞し，物語のあらすじや歌詞の内容，登場人物の心情などを理解するとともに，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などに留意して歌い，表現に必要な技能を身に付ける ・歌ったり互いに聴き合ったり，意見を交換したりしながら，曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する ・イメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する	●	●	●	●	●	●	●													●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4) (8)
・作品を鑑賞したり，作曲家について調べたり，意見を交換したりしながら，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解する ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う																				●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4) (8)
・オペラを鑑賞し，物語のあらすじや歌詞の内容，登場人物の心情などを理解するとともに，舞台芸術としてのオペラの特徴を知る ・曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などに留意して歌い，表現に必要な技能を身に付ける ・歌ったり互いに聴き合ったりしながら，曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する ・イメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する	●	●	●	●	●	●	●													●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4) (8)
・一人一人が主体性を発揮しながら，他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける ・各パートの役割を理解するとともに，全体の響きやハーモニーをイメージしながら演奏する ・共通のイメージをもって，音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する								●	●	●	●	●	●	●												●	●	●	●	●	●	●	●	(2) (4)

指導書について

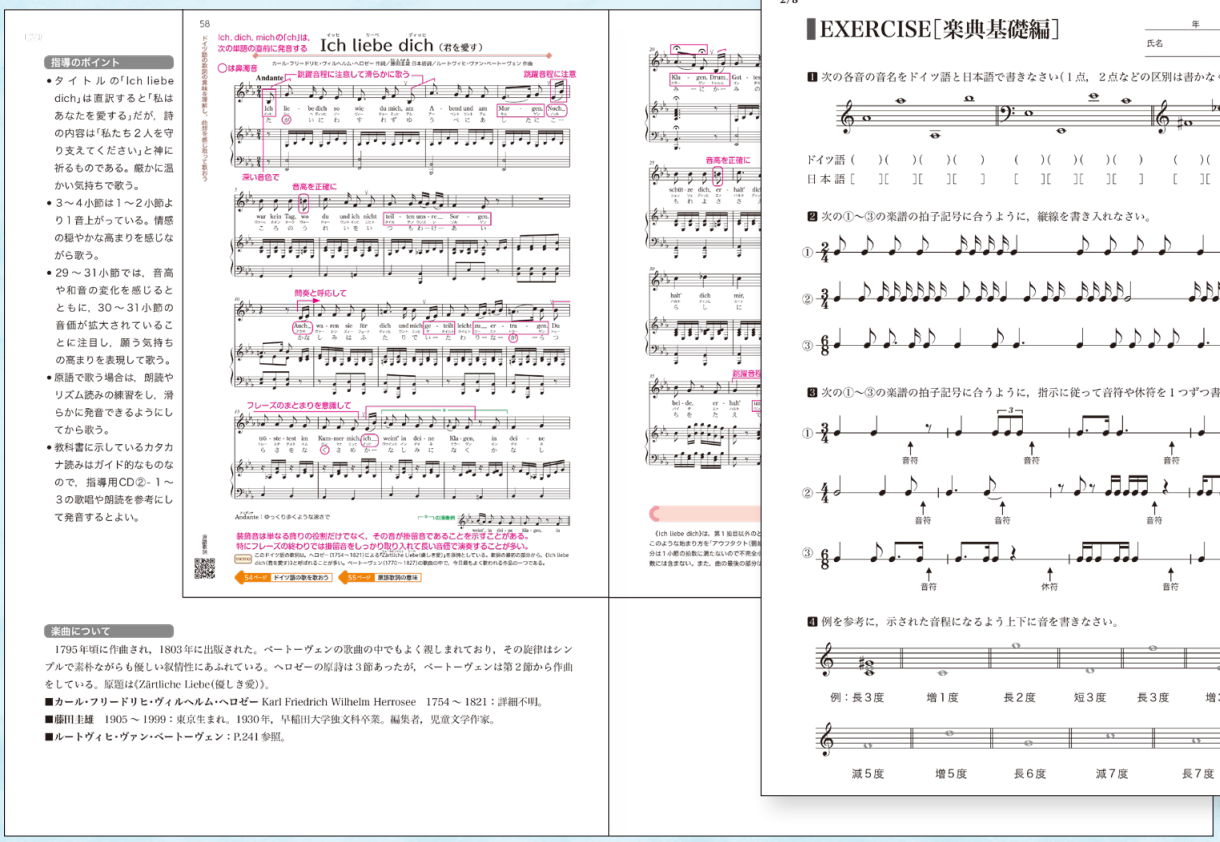
【指導書の構成】

研究資料編・楽譜資料編・指導用CD・鑑賞用CD（セット販売）……定価未定

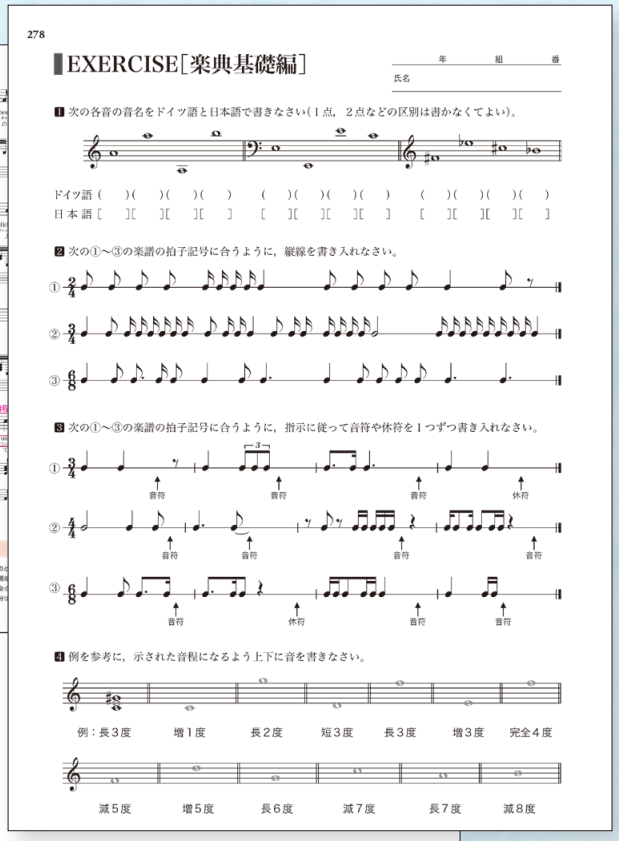
研究資料編

年間指導計画例とそれに対応した題材ごとの評価規準例，学習指導案例などを複数掲載しています。
授業を多角的にサポートする資料を掲載しています。
ソルフェージュの補充教材を掲載しています。
音楽史や楽典などに関するEXERCISEを掲載しています。

◆指導のポイントと楽曲解説をまとめた紙面の例



◆楽典に関するEXERCISEの例



※紙面はサンプルです。文章やデザインなどは変更になる場合があります。

楽譜資料編

歌唱教材の伴奏譜の他，移調譜や別の編曲なども随時取り上げ，指導の便宜を図っています。

指導用CD

歌唱と器楽の教材の模範演奏，カラピアノ，合唱曲のパート別演奏（一部）などを収録しています。
また，イタリア歌曲とドイツ歌曲，フランス語の歌は原語歌詞の朗読も収録しています。

鑑賞用CD

厳選した鑑賞教材（一部）を収録しています。

検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特色
範囲	●取り扱う内容の範囲は，学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており，音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程度	●教材は生徒の心身の発達段階や生徒の能力の実態に適応しているか。	●歌唱教材においては，生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲が取り上げられている。器楽教材においては，各学校の実態や生徒の習熟度に応じた楽曲が取り上げられている。また，鑑賞教材についても同様の扱いがなされている。
内容	●〔共通事項〕は，学習指導を進めるうえで適切に扱われているか。	●表現及び鑑賞に共通する指導内容として〔共通事項〕に示された「音楽を形づくっている要素」に関する学習が示されており，その考え方の具体的なヒントとなる「音楽を織りなすさまざまな要素」が掲載されている。
	●教材の選択及び扱いは，学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●三つの資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。 ●説明文やイラスト，写真などは，学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて，配慮や取り組みはなされているか。 ●我が国の音楽や音楽文化に対する配慮がなされているか。	●幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており，生徒が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ●基礎的・基本的な知識及び技能の習得を目指し，生徒が確実に「分かる」「できる」を実感する教材や説明が適切に配列されている。 ●「思考力，判断力，表現力等」の育成を図ることができるよう，思考した内容を記述する例や生徒どうしの会話から曲の分析を行う教材などが掲載されている。 ●説明文は平易な文章で書かれており，その配置も工夫されている。 ●イラスト，写真の取り上げ方もアイディアにあふれ，音楽的感性を育成しながら知的理解を深められるよう配慮されている。 ●生徒が自ら主体的に学習活動を進められるように，各教材に学習内容や活動のポイントが明確に示されている。 ●創作の活動においては，生徒の能力に応じて弾力的に進められるよう配慮されている。 ●鑑賞の活動においては，日本独自の文化の中で育まれてきた音楽の特徴を感じ取ることができるよう配慮されている。器楽の活動においては，各学校の実態に応じて取り組めるよう４種類の和楽器が取り上げられている。歌唱の活動においては，能の謡の一部を体験することができる教材が掲載されている。また，音楽的側面からだけではなく，文化的側面からも捉えられるよう配慮されている。
構成	●小学校，中学校における学習内容との系統性，一貫性に配慮されているか。 ●各学校や生徒の実態に応じて学習指導計画を立てられるよう配慮がなされているか。	●小学校，中学校の義務教育における音楽科の目標の上に立った内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌を「心の歌」と題して小学校，中学校から一貫して取り上げており，日本の歌に対する配慮がなされている。 ●各教材に示された学習内容や活動のポイント，歌唱・器楽，資料の「ジャンル別MAP」などにより，各学校や生徒の実態に応じて学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●表現教材と鑑賞教材との関連が図られており，複数の領域や分野を通じた題材設定がしやすいよう配慮されている。
	●教材の配列は適切であるか。	●学習指導要領の内容に即した教材が適切に配列されている。 ●表現教材と鑑賞教材との関連が図られているとともに，ページ間に張られたリンクによって，理解を深めたり関連付けたりすることができるよう随所に工夫がなされている。
	●教材の分量は適切であるか。	●豊富な分量の教材が扱われており，各学校や生徒の実態に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。
人権	●国際理解，情報，環境，人権教育などに配慮されているか。	●全体を通して，人権教育に対する適切な配慮がなされている。また，諸外国の文化に対する理解を深めることについても配慮がなされている。 ●音楽に関する知的財産権について「ルールを守って音楽を楽しもう！」が掲載されており，生徒に分かりやすく説明されている。
体裁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。 ●印刷，製本などは適切であるか。 ●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●A4判で楽譜が見やすく，紙面のレイアウトも統一感があり，教科書として適切なものとなっている。 ●表紙や扉からも音楽に対するメッセージが感じられる体裁となっている。 ●全ページにわたって美しいカラー刷りとなっており，楽譜，文字，イラスト，写真などが鮮明に印刷されている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し，リサイクル可能な表紙加工を施すなど，環境に十分な配慮がなされている。 ●全体に区別しやすい配色を用いながら必要に応じて形状や濃度を違えるなど，確実に識別できるよう配慮されている。 ●ユニバーサルデザインフォントが使用されており，誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。

別売 鑑賞参考教材ソフトについて

教科書に掲載されている「世界の諸民族の音楽」の授業展開を強力にサポートする鑑賞参考教材ソフトが，Blu-rayで登場！迫力ある演奏のみならず，各国の風景や美しい民族衣装などの文化にも触れることができます。DVDをはるかに超える高解像度と，最新技術のマスタリングによる臨場感あふれるサウンドで楽しめます。

世界の民族音楽

- Blu-ray1枚／収録時間202分　●価格19,800円（本体18,000円＋税10%）
- 全ての映像について，各分野の研究者によるライナーノーツ付き

この他，音楽鑑賞DVDでは「日本の伝統芸能 編」と「民族編」を販売しています。どちらも鑑賞や音楽史の授業に最適です。

日本の伝統芸能 編

- DVD1枚／収録時間126分
- 価格19,800円
  （本体18,000円＋税10%）
- 雅楽，琵琶楽，能楽，文楽，歌舞伎の成り立ちと魅力を紹介
- 鑑賞演目は副音声解説付き

民族編

- DVD1枚／収録時間146分
- 価格19,800円
  （本体18,000円＋税10%）
- 38カ国，全59曲を収録
- 民族音楽研究家，江波戸昭先生の解説付き

第1表　　見　本

高等学校用教科書需要票

発行者	番号	27	略称	教芸	需要数	生徒用	150	冊
教科書	記号	音I	番号	703		教員用	2	冊
						計	152	冊
	書名	MOUSA 1						

所在地
学校名
電　話

（　全日制 ・ 定時制 ・ 通信制　）

教育芸術社

●本　　社	〒171-0051	東京都豊島区長崎1-12-14	TEL.03-3957-1175（代）
●中部支社	〒460-0024	名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル8F	TEL.052-678-3151（代）
●関西支社	〒540-0003	大阪市中央区森ノ宮中央1-14-17-601	TEL.06-6943-7245（代）
●西部支社	〒751-0808	下関市一の宮本町2-7-14	TEL.083-256-4747（代）

ホームページ　https://www.kyogei.co.jp/

※環境に配慮した紙を使用しています。